

摩擦振動の基礎と

振動・異音の発生メカニズムおよびその対策

- ◆ 日 時 : 2018年09月21日(金) 10:30~16:30
- ◆ 会 場 : 江東区文化センター 3F 第2研修室【東京・江東区】
- ◆ 聴講料 : 1名につき49,980円(税込、昼食・資料付き)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**
 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

- ◆ 講師 横浜国立大学 大学院 環境情報研究院 教授 博士(工学) 中野 健 氏

なめらかに作動することを想定して設計された摺動部に摩擦振動が発生すると、運動が間欠的になり、機械の主たる機能が著しく損なわれる場合があります。あるいは、摩擦振動が機械の性能を低下させるほど激しくなくとも、摩擦振動に起因する異音の発生が機械の商品価値を低下させる場合もあります。

本セミナーでは、「摩擦の基礎理論」と「振動の基礎理論」のポイントを短時間で解説したのち、「摩擦振動の発生メカニズム」の理論的なフレームワークを解説します。以上を踏まえて、「振動と異音の対策」では、先進的な制振手法の研究紹介を含めながら、摩擦振動の問題に直面したときに着眼すべきポイントを解説します。

1. 摩擦の基礎理論

- 1-1.表面の形状と接触
- 1-2.静摩擦と動摩擦
- 1-3.摩擦の法則
- 1-4.潤滑の形態と摩擦係数

2. 振動の基礎理論

- 2-1.持続する振動(単振動)
- 2-2.流体摩擦による振動の減衰
- 2-3.固体摩擦による振動の減衰
- 2-4.成長する振動(自励振動)

3. 摩擦振動のメカニズム

- 3-1.静摩擦と動摩擦の差により生じる摩擦振動
- 3-2.動摩擦力の速度弱化により生じる摩擦振動
- 3-3.モード結合不安定性により生じる摩擦振動
- 3-4.その他(弾性体の接触界面のダイナミクスなど)

4. 振動と異音の対策

- 4-1.パッシブ制振理論に基づく設計
- 4-2.アクティブ制振理論に基づく設計
- 4-3.先進的な制振手法

【質疑応答・名刺交換・個別相談】

『摩擦振動』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-Mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送